

毎日歌壇

水原 紫苑 選

鳥はみな逃げているのか夕焼けを畏れるように陣を成しつつ 加古川市 石村 まい

△評▽鳥さもおそれるのか。ならば人類は夕焼けを見つめながらどうしたらいいだろう。

人類が何とか辿り着けさうで住めさうで思はせぶりの火星 甲府市 村田 一広

△評▽地球の友だちになれそうでない火星とは何者なのか。教えてほしい。

卵とじあんかけうどんをあげるからそのわらしべを僕にください 枚方市 久保 哲也

もしこんな星座を見たらこの番号まで連絡をください、と夏 市川市 夏目 椿

一度しか死ねない僕が水換えをする豆苗の緑 まぶしい 高島市 くらたか湖春

白藤はさびしき洞に隔たりて紗幕を模するごとくかきし 名古屋市 岩塚 光希

石畳からの夕陽の照り返し この夏すらもう色褪せてゆく 東京 遠野 鈴

白い傘を一本閉じて 夏海が近くなるようなまつ毛のひかり 横浜市 砂月 七

空中で平泳ぎする夢覚めず到達できぬ天国の門 加古川市 畑 啓之

礎にするための木を組む、僕と僕でないほうの僕と 今夜も 雲南市 熱田 俊月

伊藤 一彦 選

自販機に買いしサイダー即開栓しぶきの散りて道路に黒し 東京 井芹 純子

△評▽すぐに開栓したのは猛暑のこの夏だからよくわかる。結句の「道路に黒し」が印象的。明るくない未来への予感の表現か。

健康チェック倦怠感「け」と書きぬ けけけけけけ猛暑は続く 春日市 伊藤 亮

△評▽倦怠感と書くのもだるくただ「け」。「けけけけけけ」が思い切っていて巧み。

灼熱の真昼にはまだ感じねと愛宕の朝に秋風あらた 福岡市 川波 麗

朝あさに咲いたあさがほ送りあり LINE は父との共有花壇 横浜市 谷口 菜月

ほとほどの歩幅に並ぶ飛び石の配置が示もてなしの心 東大阪市 志賀 克毅

絵馬の群れ掻き分け走れ母親の病の治療を願える絵馬よ 福岡市 原田 冬

他愛ないおしゃべりをしてヴェールから君の心がそっと見れた日 八幡市 田中 昌子

君の背の赤いリュックになれたなら共に世界を見て回りたし 札幌市 住吉和歌子

老い痴れし母の描きたる絵手紙の笑まふいまはりたたた黄色 東京 稲山 博司

二泊ほどの旅の支度に幾たびもケースの中身妻は確かむ 延岡市 河野 正

米川千嘉子 選

首泊いに汗をかいてるTシャツで遠い戦争の夢をみていた 松戸市 渡邊 理紗

△評▽自分から無限の距離がありそうな海外の戦争や紛争が、わずかな身体感覚とともに一瞬近く。上句がリアルだ。

一日を六時間ごと四コマに起承転結あしたはあした 福岡市 西田 浩之

△評▽24時間でリセットして新しい「起」。前向きな気分になりそう。

空調服のスイッチ押せば僕でさえ風と一心同体になる 四日市市 早川 和博

わがへっぽこ塾より巣立ちしこともたつこのくだらない社会に負けるな 浜松市 久野 茂樹

面会に手をふる義母に気をゆるすわれも姑になりてふたとせ 川崎市 大平真理子

食フェスのテントほどけば喰い切った煮鰯みたいな骨組ならぶ 東京 浅倉 修

樹木葬の息の墓にわれらも入って後合同墓に移さるる契約 吹田市 鈴木 基充

人はみな誰かを信じて生きてるパイロットとか運転手とか 名古屋市 浅井 克宏

(おしっこがしたい)と鈴で起す夫尿意戻りてしじみじみ 和歌山 中西 幸代

翔平さんの笑顔に体軀にはげまされ点滴スタンド支えに歩く 仙台市 江川 森歩

加藤 治郎 選

真っ白な壁が我が家を包み込む見たこともない集中豪雨 春日市 伊藤 亮

△評▽窓から見ると外は真っ白なのである。壁が卓越した比喩だ。ニュースの映像よりも豪雨の実感をリアルに伝えている。

……掘っても掘っても掘っても掘っても掘っても泥水しか出なかった 東京 栗生 翠

△評▽絶望的な行為である。4・4・4・4・4・4・4・4・4・4の破調だが31音である。

カーテンがぶわっとなつて陽光に突然包まれてしまいたい 名古屋市 森本 有

日比谷線急停車して今日もまた生き急いでる人々の群れ 東京 安 高良

寂しがるくじらにあげたいくつかの虹の記憶に君もいたのか 大津市 世田 夏雪

うしろからカムパネルラの声がする(とおい異国はあなたとなり) 春日部市 宮代 康志

眠りから覚めて焼かれたクロワッサン昨夜の月のひかりを帯びて 兵庫 廣澤 真希

薄水色のぬるい曇り空の中で酔うことも眠ることもできずに 西宮市 荒川 裕香

「じゃーん」とテレビの音に賢治かと思えば将棋解説だった 東京 稲山 博司

銀行を複数使い分けている人はお金の話が好きだ 大津市 佐々木敦史

投稿規定

はがき1枚に選者を指定し、未発表の自作を2首・2句まで。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、宛先は〒100-8051(住所不要)毎日新聞学芸部、短歌は「毎日歌壇」、俳句は「毎日俳壇」、○○先生(希望選者名)係へ。毎日新聞デジタルの投稿フォーム

(<https://mainichi.jp/kadan-haidan/>)でも受け付けています。

他媒体との二重投稿や同一作品を複数の選者に投稿するのは厳禁。投稿は趣旨を変えずに添削することがあります。入選作は毎日新聞社の電子メディアやデータベース、アプリ「俳句でふてふ」で公開します。



こちらから投稿できます